

採点基準 英語

配点表

大問	小問	内訳	小問得点	大問得点
〔1〕	問1	記述	12	60
	問2	記述	8	
	問3	記述	12	
	問4	記述	16	
	問5	客観	3×4	
〔2〕	問1	記述	15	60
	問2	記述	10	
	問3	記述	15	
	問4	客観	4	
	問5	客観	7(完答)	
	問6	客観	3×3	
〔3〕	1	客観	3×4=12	40
	2(a)	記述	12	
	2(b)	記述	16	
〔4〕	(A)	記述	20	40
	(B)	記述	20	
合計			200	200

大問 I

問 1. 内容説明 (12点)

〈設問指示〉 下線部A とはどのようなものかを、本文に即して日本語で説明しなさい。
 〈解答例〉 揚力について説明する際に、機能している実際の力や要因に関して、難解な知識を要しない直観的な理解を私たちに提供してくれる、一般人の常識に訴えるアプローチ。

【解答参考箇所】

(下線部) This approach

- that is intended to provide us with a physical, commonsense explanation of lift (私たちに揚力についての物理的で一般的な説明を提供する意図を持っている)
- The objective of the nontechnical approach is to give us an intuitive understanding of the actual forces and factors that are at work in holding an airplane aloft. (非厳密的なアプローチの目的は、飛行機を滞空させる際に機能する実際の力や要因の直観的な理解を私たちに与えることである)

● 次の①, ②の項目に相当する内容に得点を配分。(内の配分を超えた減点はしない)

項目・配点	盛り込むべき内容
<p>① 6点 that is intended to provide us with a physical, commonsense explanation of lift (私たちに揚力についての物理的で一般的な説明を提供する意図を持っている)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • provide us with explanation of lift ⇒ 「揚力についての説明を提供する」にあたる要素が必須 ☆ us の有無は不問 • physical, commonsense ⇒ 「物理的/力学的」、「一般的な/常識的な」にあたる要素が必須 ☆ physical, commonsense どちらかだけで可
<p>② 6点 to give us an intuitive understanding of the actual forces and factors that are at work in holding an airplane aloft. 非厳密的なアプローチの目的は、飛行機を滞空させる際に機能する(実際の)力や要因の直観的な理解を私たちに与えることである</p>	<ul style="list-style-type: none"> • intuitive understanding ⇒ 「直観的な理解」にあたる要素が必須 ☆ ①の commonsense が正しく述べられていれば、訳出されていなくても減点しない • the actual forces and factors ⇒ 「力や要因に関して」にあたる要素が必須 ☆ actual はなくても可 ☆ physical を正しく述べられていれば、訳出されていなくても減点しない • that are at work in holding an airplane aloft. ☆ ①の lift が正しく述べられ、解答が成り立っていれば訳出されていなくても減点としない
<p>※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても0点でよい。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき-1点。</p>	

大問 I

問 2. 内容説明 (8 点)

〈設問指示〉 下線部 B は具体的にどのような疑問を意味しているか、本文に即して日本語で説明しなさい。
〈解答例〉 空気が湾曲した表面を通過する時により高速で動くのはなぜなのかということ。

【解答参考箇所】

(下線部) why this is so

air moves faster across a curved surface (空気が湾曲した表面を通り抜ける際により速く動く)

●次の①, ②の項目に相当する内容に得点を配分。(内の配分を超えた減点はしない)

項目・配点	盛り込むべき内容
① 4点 air moves faster 空気はより速く動く	• air ⇒「空気」にあたる要素が必須 • moves faster ⇒「より速く動く」にあたる要素が必須 ☆比較級に訳せていないと (-1)
② 4点 across a curved surface 湾曲した表面を通り抜ける際に	• across を moves と正しくつなげて理解して訳出している要素が必須 • curved surface ⇒「湾曲した(翼の)表面」にあたる要素が必須
※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても0点でよい。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき-1点。 ※文末は不問。ただし、下線部 why が反映されていない場合は全体から-1点。	

大問 I

問3. 下線部和訳 12点

〈設問指示〉下線部(C)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉幹線道路では、2つかそれ以上の交通レーンが1つに合流する時、そこに巻き込まれた車は、速度を増して進むということはない。そうではなく全体の速度が落ち、場合によっては交通渋滞を引き起こすことさえある。

【和訳箇所】

On a highway, when two or more lanes of traffic merge into one, the cars involved do not go faster; there is instead a mass slowdown and possibly even a traffic jam.

●次の各項目に相当する内容に得点を配分。(内の配分を超えた減点はしない)

区分	配点	具体事例
On a highway 幹線道路では	1点	
when two or more lanes of traffic merge into one 2つかそれ以上の交通レーンが1つに合流する時	4点	<ul style="list-style-type: none"> •when •two or more lanes of traffic •merge into one ⇒それぞれの要素にあたる訳出が必須
the cars involved do not go faster 巻き込まれた車は速度を増して進むということはない	3点	<ul style="list-style-type: none"> •the cars involved ⇒修飾関係の誤訳(-2) <ul style="list-style-type: none"> •do not go faster ⇒比較級の語感が欠けていけば(-1)
there is instead a mass slowdown and possibly even a traffic jam. そうではなく全体の速度が落ち、場合によっては交通渋滞を引き起こすことさえある	4点	<ul style="list-style-type: none"> •there is instead a mass slowdown ⇒mass は「集団の」「全体の」の直訳と、「巻き込まれた車たち」「合流した車全体」などの説明的訳も可 <ul style="list-style-type: none"> ⇒slowdown を「スローダウン」と訳出は不可 •and possibly even a traffic jam ⇒even 訳漏れ(-1) <ul style="list-style-type: none"> ⇒traffic jam の誤りはまとめて(-1)
※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても0点でよい。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき-1点。		

大問 I

問4. 内容説明 16点

〈設問指示〉 下線部D は具体的にどのような内容であるかを、本文に即して日本語で説明しなさい。
 〈解答例〉 翼の上部が湾曲して翼の下が平らである場合は、翼の上の空気は気圧が低くなるため、機体は下から押し上げられて滞空できるとされるが、機体が上下反転した場合にも変わらず機体は滞空するという点と、翼の上下の両面の湾曲が同じかどちらも平坦な飛行機も条件が合えば上下反転して飛ぶことができるという点を、ベルヌーイの定理では説明できないという問題。

【解答参考箇所】

(下線部) The third problem

【要素①】 An airplane with a curved upper surface is capable of flying inverted. (湾曲した上面を持った飛行機は、上下反転して飛ぶことができる)

【要素②】 In inverted flight, the curved wing surface becomes the bottom surface, and according to Bernoulli's theorem, it then generates reduced pressure below the wing. (反転飛行では、湾曲した翼面は底面になり、ベルヌーイの定理によれば、それにより翼の下の気圧が減少してしまうことになる)

【要素③】 That lower pressure, added to the force of gravity, should have the overall effect of pulling the plane downward rather than holding it up. (そのより低い気圧は、重力と合わさって、機体を上昇させるのではなく引き下げる効果を全体として持つはずなのである)

【要素④】 Moreover, aircraft with symmetrical airfoils, with equal curvature on the top and bottom — or even with flat top and bottom surfaces — are also capable of flying inverted, so long as the airfoil meets the oncoming wind at an appropriate angle of attack. (さらに、上面と下面が対称な翼を持つ飛行機は、上面と下面が同じ割合で湾曲していたり上面と下面がどちらも平らであったりさえするのだが、翼が適切な角度で向かってくる風にぶつかるなら反転して飛ぶこともできてしまうのである)

●次の各項目に相当する内容に得点を配分。(内の配分を超えた減点はしない)

項目・配点	盛り込むべき内容 (内) は減点上限
ベルヌーイの定理への正しい言及 (4点) 翼の上部が湾曲して翼の下が平らである場合は、翼の上の空気は気圧が低くなるため、機体は下から押し上げられて滞空できる	<ul style="list-style-type: none"> ・翼の上部が湾曲 ・下部が平ら ・翼の上部の気圧が減少 ・機体が押し上げられ滞空する ⇒上記にあたる内容が必須
ベルヌーイの定理に矛盾するが反転飛行が可能であること (6点) / 機体が上下反転した場合にも変わらず機体は滞空する	<ul style="list-style-type: none"> ・「(機体が)上下反転」の該当事項 ・「飛ぶ[滞空]することができる」の該当事項 ⇒上記にあたる内容が必須
翼の両面がシンメトリーなタイプの飛行機とその(反転)飛行への言及 (6点) 翼の上下の両面の湾曲が同じかどちらも平坦な飛行機も条件が合えば上下反転して飛ぶことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・「翼の両面が同じ形状」の該当事項 ・「(やはり) 飛ぶ[滞空する]ことができる」の該当事項 ⇒上記にあたる要素が必須 ☆「反転」の有無はここは不問 ☆「シンメトリー」のカタカナ表記可
※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても0点でよい。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき－1点。	

大問Ⅱ

問1. 下線部和訳 15点

〈設問指示〉下線部(A)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉 彼は「他の天体における生命の条件に対する観測」を始めつつあると間もなく公表したのだが、彼には「我々はその件に関して決定的な発見をする瀬戸際まで来ていると信じるに足りる有力な理由」があったのだ。

【和訳箇所】

He soon announced he was starting “an investigation into the condition of life on other worlds,” with “strong reason to believe that we are on the eve of pretty definite discovery in the matter.”

区分	配点	具体事例
He soon announced 彼は間もなく公表した	2点	・He は人名で述べても可。その際カタカナ表記の正誤は不問
he was starting “an investigation into the condition of life on other worlds” 「他の天体における生命の条件に対する観測」を始めつつある	5点	・life を「生活」「命」としたものは(-1) ・other worlds を「他の世界」「火星」としたものは(-1)
with “strong reason to believe that 信じるに足りる有力な理由があった	3点	・with は[所有][付随]の訳出で、announced / starting どちらかにかかって訳してあれば可 ・reason to believe ⇒「～をするための理由」として訳した場合(-1)
we are on the eve of pretty definite discovery in the matter.” 我々はその件に関して決定的な発見をする瀬戸際まで来ている	5点	・pretty definite ☆pretty の強調の意味がないと(-1)

※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても0点でよい。

※ “...”を、「...」として反映できていない場合、1回のみ-1点。

大問Ⅱ

問2. 内容説明 10点

〈設問指示〉 下線部B は、実際は何を指していたのか、日本語で説明しなさい。
 〈解答例〉 目の裏にある枝分かれした血管の鏡像。

【解答参考箇所】

(下線部) amazing network on Mars

are mirror images of the tree of blood vessels we all have on the backs of our eyes (火星の運河を描いた彼の地図の正体は、私たち皆の目の裏にある枝分かれした血管の鏡像なのだ)

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 2点 mirror images	<ul style="list-style-type: none"> ・「鏡像」にあたる要素が必須 ☆images を「イメージ」「印象」と訳出するのは不可
② 4点 of the tree of blood vessels	<ul style="list-style-type: none"> ・the tree of ～ ⇒「枝分かれした」にあたる要素が必須 ☆「木の～」とした場合は(－1) ・blood vessels ⇒「血管」にあたる要素が必須 ☆「血流」は vessel の誤訳とする
③ 4点 we all have on the backs of our eyes	<ul style="list-style-type: none"> ・we all 部分の有無は不問 ・on the backs ⇒「裏にある」にあたる要素が必須 ・of our eyes ⇒「目」にあたる要素が必須
<p>※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても0点でよい。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき－1点。</p>	

大問Ⅱ

3. 内容説明 15点

〈設問指示〉 下線部C の中で、2 番目に述べられている内容を日本語で述べなさい。

〈解答例〉 運河網が余りに巨大で、供給可能な水の10 倍の水分が蒸発で失われてしまうため、そのような運河網の建設は全く不合理であるという欠陥

【解答参考箇所】

(下線部) a list of logical flaws

extreme irrationality of constructing so vast a canal-system the waste from which, by evaporation, would use up ten times the probable supply (蒸発によりその運河網から水分が失われることで、見込まれる供給の10 倍を使い果たすことになる、かくも大規模な運河網を建設するというとてつもない不合理性)

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 2点 extreme irrationality	<ul style="list-style-type: none"> •extreme, irrationality 欠如と誤りはそれぞれ(－1)
② 4点 of constructing so vast a canal-system	<ul style="list-style-type: none"> •canal-system を単に「運河」は(－1) ☆ system はカタカナ訳可
③ 9点 the waste from which, by evaporation, would use up ten times the probable supply	<ul style="list-style-type: none"> •the waste from which[=the vast canal-system] が would use up の主語だと理解できていない誤りは(－2) •by evaporation は waste の原因、use up の原因どちらの解釈も可 •waste または use up •evaporation •ten times •supply ⇒上記の要素にあたる訳出が必須 ☆probable の有無と誤訳は不問
<p>※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても0点でよい。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき－1点。</p>	

大問Ⅲ

2a) (12点)

<設問指示> What influence does Gareth think to serve only organic food on campus would have on their college life? Write between 30 and 40 words using full English sentences. Indicate the number of words you have written at the end of the composition.

(解答例) He probably thinks if the college cafeteria should serve only organic food, the students will have to pay more than they can afford, and more and more students will be forced to choose to have junk food than at present.

【解答参考箇所】

【要素①】 Have you ever compared the cost of organic food with that of nonorganic food?(オーガニック食のコストをそうでないものの場合と比べたのかい。)

【要素②】 Here! According to this website, for example, organic eggs cost 61% more than non-organic ones, and that's not even the biggest price difference. Organic peanut butter is 125% more expensive per ounce. I think your idea will do more harm than good.(あつた! 例えばこのサイトによると、オーガニック卵はそうでないのと比べて 61 パーセント値が張るね。それに、それが一番価格差が大きい例じゃないね。オーガニックピーナッツバターは 1 オンス当たり 125 パーセント高いよ。君のアイディアは益より害が大きいと思うな。)

●次の①, ②の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	配点	盛り込むべき内容
要素①: What influence...?と問われている要素の解答となっているか	3点	・「オーガニック食のみを導入することによる影響」についての内容となっているか
要素②: Gareth の発言に基づいているか	3点	・James の意見と混同している場合は不可
要素③: オーガニックフードが割高であるという Gareth の主張が含まれているか	3点	・「高価である」「コストが大きい」などの要素が含まれているか
要素④: オーガニックフードだけを学食で出すことの負の側面について言及しているか	3点	・負の側面、悪い効果があると取れる表現は広く許容。 ・具体例の欠如は不問。
<p>上記四つの要素の内、三つの要素を満たしていれば、内容面はクリアしているとみなし、文法・用法に基づいた採点を行う。 満たしている要素が二つ以下だった場合、満たしている要素の区分点(3点)ごとに文法・用法に基づいた採点を行う。</p>		
<p>※構文レベルの誤りとスペルミスは各 (-1) ※語数超過[不足]は0点 ★末尾に語数を記入していないものは (-2)</p>		

大問Ⅲ

2b) (16点)

<設問指示> Give three reasons Gareth thinks the college cafeteria should serve local produce. Write between 50 and 70 words using full English sentences. Indicate the number of words you have written at the end of the composition.

(解答例) First, he thinks that the cafeteria would be able to serve more economical meals by cutting the shipping costs. Second, he points out that to consume more local produce would result in local farm producers and grocery stores earning more, which would stimulate the local economy. Third, he also thinks that to consume local produce would help reduce carbon emissions from having food delivered from distant regions. (67 words)

【解答参考箇所】

【要素①】 First of all, that would enable us to have more economical meals. To consume food transported from distant regions means we have to pay more for the shipping costs. (何と言っても、そうすれば僕らはもっと安く食事ができるよ。遠隔地から運ばれてくる食物を消費するということは、輸送費をより多く払わなければいけないということだもの)

【要素②】 In addition, if we consume more local produce, local farm producers and grocery stores will benefit greatly and our local economy will be boosted. (それに、もっと地元の農産物を消費すれば、地元の農業生産者や食料品店は大いに儲かって地元経済が上昇するだろうね)

【要素③】 We could contribute to reducing carbon emissions from long distance shipping if we tried to depend more on local produce. (もっと地元の農産物に依拠するようになれば、長距離輸送が原因の炭素排出を減らすことに貢献できるからね)

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	配点	盛り込むべき内容
要素①：食費が安くなる旨とその理由 「 <u>輸送費の安さ</u> から、 <u>食物も安く</u> なる」	5点	・「輸送費の安さへの言及」 ・「食物の安さへの言及」
要素②：地元の経済が活発化すること <u>地元の農業生産者や食料品店</u> は大いに儲かって <u>地元経済が上昇</u> する	6点	・「地元農業生産者や食料品店が儲かる[に益となる]」 ⇒ local, farmer[farm producers], grocery stores の欠如は各(-1) ・「地元経済が上昇する」
要素③：炭素排出量を減らすこと <u>長距離輸送が原因</u> の <u>炭素排出を減らす</u> ことに貢献できる	5点	・「(長距離)輸送による」 ・「(二酸化)炭素を減らす」 ☆上記の要素を述べず単に「空気がきれいになる」「環境に良い」のみの記述は(-2)
上記の要素ごとに、配点区分内で採点。		
※構文レベルの誤りとスペルミスは各 (-1) ※語数超過[不足]は0点 ★末尾に語数を記入していないものは (-2)		

大問Ⅳ

(A) (20点)

〈問題部分〉仕事と遊びを区別するのはそう簡単なことではない。重い鞆を運んでいる郵便配達員は誰の目から見ても働いているが、リュックを背負っているハイカーは、たとえあえいでいても歩くことを楽しんでいるように見える。

〈解答例a〉 It is not so easy to distinguish between work and play. The postman who is carrying a heavy bag is clearly working, while the hiker with a pack on his back seems to be enjoying walking even if he is breathing heavily.

〈解答例b〉 We cannot distinguish work from play so easily. It is clear that a postman is working when he is carrying a heavy bag, while a hiker who is walking with a pack on his shoulder(s) seems to be having fun even if he is out of breath.

●次の①～⑤の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 5点 仕事と遊びを区別するのはそう簡単なことではない。 it is not so easy to distinguish between work and play	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕事」 ⇒×business, occupation (－1) ・「遊び」 ⇒×activity (←leisure が前に付けば許容) (－1) ・「区別する」 ・「そう」の有無は不問 ・「簡単ではない」
② 2点 重い鞆を運んでいる郵便配達員 the postman who is carrying a heavy bag	<ul style="list-style-type: none"> ・「重い鞆を運んでいる」 ⇒現在進行形か現在分詞のみ許容 ・「郵便配達員」
③ 4点 誰の目から見ても働いているが clearly working	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰の目から見ても」 ・「働いている」 ⇒時制は現在進行形のみ許容 ・「が」は though, although の場合はこの枠に入れるが、but の場合は④の枠に入れる。誤訳、訳出漏れは(－1)
④ 4点 リュックを背負っているハイカーは the hiker with a pack on his back	<ul style="list-style-type: none"> ・「リュックを背負っている」 ・「ハイカー」
⑤ 5点 たとえあえいでいても歩くことを楽しんでいるように見える	<ul style="list-style-type: none"> ・「たとえ」 ⇒[even] if, [even] though の区別は不問 ・「あえいでいる」 ⇒一般動詞を使っている場合時制は進行形を許容 ・「ように見える」

大問Ⅳ

(B) (20 点)

〈問題部分〉仕事に対する見方は人により異なるし、同じ社会の中でも、ある者には仕事とされていることが別の者には遊びと見なされる。例えばプロの演者が仕事としてやるのが、聴衆や観衆の立場からすると娯楽なのだ

〈解答例a〉 People differ in the way they see work. In addition, even in the same society, what is considered work by one person may be regarded as play by another. For instance, the audience or spectators enjoy as recreation what professional performers do as work.

〈解答例b〉 The attitude to work differs from person to person, and even in the same society, what one person regards as work can be viewed as play by another. For example, what is work for professional performers is recreation for the audience or spectators.

●次の①～⑤の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
① 5点 <u>仕事</u> に対する見方 は <u>人により異なる</u> people differ in the way they see work	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕事」 ・「に対する見方」 ⇒ 「を見る[定義する]方法」「への態度」「の定義」といった言いかえを認める <ul style="list-style-type: none"> ・「人により異なる」
② 2点 <u>同じ 社会の中</u> でも、 even in the same society	<ul style="list-style-type: none"> ・「同じ」 ⇒ same の前の the が漏れている場合は (-1) <ul style="list-style-type: none"> ・社会の中 ・「でも」の even の有無は不問
③ 4点 <u>ある者には仕事とされていることが別の者には遊びと見なされる。</u> what is considered work by one person may be regarded as play by another	<ul style="list-style-type: none"> ・「ある者には仕事とされていること」 ⇒ 「ある者・別の者」の対比は one, another / some, others とする。the other, the others は不可 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 「思われている」は「見なされる」「である」でも可 ・「別の者には遊びと見なされる」
④ 4点 <u>例えば プロの演者 が 仕事としてやること</u> が for instance, what is work for professional performers	<ul style="list-style-type: none"> ・「例えば」 ・「プロの演者」 ⇒ player, musician, actor は不可 <ul style="list-style-type: none"> ・「仕事としてやること」
⑤ 5点 <u>聴衆や観衆 の 立場からすると 娯楽</u> なのだ recreation for the audience or spectators	<ul style="list-style-type: none"> ・「聴衆や観衆」 ⇒ 「聴衆」は単数形不可で、「観衆」は単複どちらも許容。共に the や所有格（「演者」を受ける）の有無は不問 <ul style="list-style-type: none"> ・「立場からすると」 ⇒ 「立場からすると」は「にとって」でも可 <ul style="list-style-type: none"> ・「娯楽」